

## 遠き思い出

私が小学生の頃、「木曾川西小学校」は木造でした。夏よりも冬の景色が思い出されます。

木の老化は油引きです。教室を出ると油のにおいがします。

6年生の時に一番北の校舎がコンクリートになりました。今思うと残念ですね。天気が良ければ屋上から伊吹山、乗鞍岳、御岳、北アルプスの山々がいっぱい見られたのに。大人になってから、山の景色に誘われて毎週のように山々に出かけるのに、当時は山の名前さえ興味がありませんでした。

私が4年生の時、「東京オリンピック」がありました。

私は器械体操に興味を惹かれ、宙返りができるようにと、自宅では筆筒の上によじ登り、布団をたくさん重ねておいて宙返りをしていました。それでも成功しないので田圃に行きます。稲刈り跡のきれいに積まれた稲わらから宙返りの練習です。泥の田圃でも着地はちょっとヤバイかな？と、藁を崩して着地マットの代わりにし、夕焼けの頃まで練習していました。あとかたづけはしなかったもので、当時の農家さんには迷惑だったと思っています。ごめんなさい。でも、少しは上手になった気がします。



小学校の校庭に「二宮金次郎」の像がありました。春近い頃、日向ぼっこしていると、積まれた岩に面白いものを見つけます。岩にはたくさんの「穴ぽこ」があります。深さは小指の先がちょうど入るくらい、見つけたのは「日本蜜蜂」のようです。私と一緒に日向ぼっこです。毎年春頃見つけるのですが、「掃除サボリ」が得意な私には「良き友人」に思えました。

今も穴ぽこだらけの岩はあるのでしょうか？探してみたいものです。「良き友人」も。

## 私の「思い出」

昭和50年、葉栗郡木曾川町立木曾川西小学校へ入学しました。

「お〜わり〜のひ〜ろ〜の果てしなく〜♪」、西小学校の校歌ですね。何度も大きな声で歌ったのを覚えています。なので今でも歌えます。私の子供達も西小学校の卒業生。時々、一緒に大きな声で校歌の大合唱。そして決まって「しっかり覚えているよね。」と笑顔いっぱいになっています。

陸上記録会やバドミントンクラブ活動、放課にはドッジボールと時にはケンカもしましたが、友達と一緒に頑張った時間はとても楽しかったですね。突き指したりボールが顔に当たったり鼻血を出したり、痛かったのも覚えています、それでも楽しかった思い出です。

あんな頃、女子にはゴム跳びが大流行りしていて、毎日のように友達とどこの高さまで跳べるか競うように遊んでいました。



男子女子一緒にジャングルジムで鬼ごっこも流行りで、体を丸くしてまるでお猿さんのようにものすごい速さで駆け回るのです。頭をぶつけて目から星がキラキラなんてのもありました。ブランコでジャンプ、雲梯でジャンケンゲーム。廊下で友達と3人で手をつないで歩いて3人一緒に滑って転んで、真ん中にいた私は前歯を折ってしまったり…、改めて思い出すとなかなかのわんぱくぶりにびっくりです。

他には「リリアン」という編み物も流行っていました。友達に教えてもらったり、でき上がった物を見せ合ったり、ランドセルに付けたり、作りながらおしゃべりしたり、これも楽しかったですね。

もちろん勉強を頑張った事、100点に喜んだ事も印象に残る思い出ですが、やはり、たくさんの友達と楽しい時間を過ごした事が、一番の「思い出」になっています。

## 私の「思い出」

私が小学生の時は、1974（昭和 49）年から6年間になります。学校での思い出は、学級委員長をやり、成績優秀、先生には「将来は楽しみだ」と言われたのは2年生まで。とにかく、じっとしていることが出来なく、授業は苦痛でしかなかった思い出しかありません。そのぶん、動き回る授業は楽しかったです。

学校での思い出よりも印象に残っているのは、地域での活動です。ほとんどの子どもは子ども会に入り、1年生から中学1年生まで一緒に活動していました。電車やバスを利用した遠足、春秋の運動会、夏休み中のラジオ体操、ソフトボール及びドッチボール大会、雀のお宿の一泊二日のキャンプ、お祭り、クリスマス会などなど。



50人前後はいたと思うのですが、学校への登下校、帰ってから道路での野球、子ども会で集まった時のなどの騒がしいこと。とにかく町内が、子どもたちの声で溢れていたのではないかと思います。

これだけ子ども同士が、学年を超えて楽しくできたのは、地域の大人たちがいろいろ環境を作ってくれたのだと思い、とても感謝しています。

今かなりの年月が経ち、地元に残っている人は少ないです。しかし、たまに帰省しているのを見かけると声をかけ、昔のように話せるのも、子どもの頃よく遊んだり繋がりが強かったりするからなのかなと思います。

私は今、子どもの頃、地域の大人たちに受けた恩を、今の子どもたちに送っていかうと思ひ、勝手にいろいろ活動しています。

「恩送り」という言葉があるそうです。いつか私が関わった子どもたちが、一人でも次の世代に自分たちがしてもらったことを伝えていってもらえれば、それが一番ですが、これからも先人に感謝の気持ちを忘れずに、自分自身活動していきたいと思っています。

## 私が綴る小学校時代の思い出

私が小学校の6年間で、今まで頭に残っていることが3点ほどあります。その3点以外のことは、かなり昔のことでもあり、記憶にありません。

【その1】図工の授業で彫刻をした時のことです。私はモアイ像をレンガに掘りました。我ながら良い出来栄えで満足した覚えがあり、先生からも褒められました。次の段階で、その掘ったモアイ像に色を塗ることになるのですが、その際、先生から「早く終わったら、図書室に行っても良いよ」とのことので、私は図書室で読みたい本があったので、いいかげんに色をぬって図書室に行きました。



後日、先生から次のような感想を言われました。「せっかくよく彫れたのに、色塗りをもう少し丁寧にすれば、もっと良い作品に仕上がったのになぁ〜。」と残念がられた記憶があります。今思えば、図書室で本を読みたいばかりに、いいかげんに色塗りをしたこと、自分でも公開しています。

【その2】給食時間における全校向け放送に、ある事集計結果を毎日、私一人が放送室に入り、放送したことがありました。私の声が全校に流れる放送ができることに、非常に高揚した記憶があります。全校で私だけがこのような放送をすることは、幼心ながら優越感に浸っていた自分がいました。今思えば、自分が給食時間を削っていることの不利等、マイナス面が全く分かっていなかったと、自分の未熟さに気づかされます。まあ、これも小学校時代の良い思い出になるのではないかと思います。



【その3】運動会での昼食の時間です。運動会がある日の当日、とても楽しみで気分が非常にワクワクしていました。それは、お昼に両親が作ってくれたお弁当を教室の外で食べられるからです。今では、平日に運動会を実施することもあるようで、教室で弁当を食べるとか。残念に思う子どもたちもいるのではないのでしょうか。私の時代には、このようなことがなかったので、外で食べる昼食がとてもうれしかったと記憶しています。



以上が私の小学校時代の思い出です。そんなたいしたことではないのですが、なぜだか、今でも記憶に残っています。

## 懐かしの木曾川西小学校

木曾川西小学校 150 周年、おめでとうございます。創立から現在までに戦争、地震、伊勢湾台風等、さまざまな困難を経ての 150 年ですが、そのうちの 6 年間で共有できたことを大変嬉しく思います。私は木曾川町で生まれ育ったので、先祖代々から木曾川西小学校でお世話になっています。今は、孫が木曾川西小学校に通っていて、孫が歌う校歌を聞くと懐かしく、つい口ずさむこともあります。



昨年、孫の運動会で木曾川西小学校に行くことがあり、そこで久しぶりに二宮金次郎の像に再会することができました（笑）。相変わらず「雨二モ負ケズ風二モ負ケズ…」の勤勉なお姿を拝見することができ、大変懐かしく眺めていました。今のご時世、ながらスマホが御法度のように、歩きながらの読書なんて許されることではなく、子どもへの影響を考慮して、座り金次郎も登場しているくらいですが、今ある二宮金次郎像は、その時代に生きる人達の希望に  
応じて作られるものであって、時間とともに形が変わることは仕方がないですが、今も当時の想いを変わらずに伝え引き継いで二宮金次郎像は、これからも当時の想いととも、後世に残して行って欲しいものです。

昔の思い出としてもう一つ見つけたものがあります。それは正門の東側にある大きな石です。小学生だった私は、この石に登ったり滑り台代わりとして遊んだりしたものでした。当時は、このようにとても大きい石のイメージでしたが、今改めて見ると意外と小さいなあ！と年月を感じる思いです。その他まだまだあると思いますが、次代を経て当時の物が残っていることは、木曾川西小学校の卒業生として宝物のように嬉しく有難いものです。



学校行事については、運動会の思い出です。全校生徒一丸になっての紅白対抗競技等も思い出深いですが、数ある競技の中で、通学団の対抗リレーは、子どもたちはもちろん、親までも必死で応援し頑張った思い出があります。

今はコロナ禍で全学年そろっての行事が制限され残念ですが、コロナも収束されつつあります。今後、昔のように学校行事が活発に行われ、個の集まりになりがちな現在の風潮を改め、全校生徒の交流がより盛んになり、思いやりのある楽しい学校生活を送ってほしいと思います。そして、みんなが「元気で 仲良く 大好き 木西」と自慢できる学校を、これから先何年も語り継がれていけるようにしたいものです。

## 懐かしの木曾川西小学校

木曾川西小学校 150 周年、おめでとうございます。私は、51 年前に木曾川西小学校を卒業しました。この原稿を依頼された時、木曾川西小学校が創立 150 周年になることを知り驚きました。

小学校時代の思い出については、孫の運動会で小学校に行った時、その在校時からある校舎や体育館、さらに体育館の中ものぞくことができ、当時の様子を思い描きながら、51 年経った今も、同じ施設で孫の世代が過ごしていることに大変嬉しく、感動さえ覚えました。

職員室の前には、丸い大きな池にたくさんの水草とともに金魚や亀もいた覚えがあります。また、飼育小屋も庭の西側にありましたが、今は違う場所に移動しているみたいです。

当時の飼育小屋には、うさぎ、小鳥等が飼われていましたが、飼育小屋の当番制があって、6 年生になると当番が回ってきました。当番の仕事は、うさぎの餌やりや小屋の中の掃除でしたが、小学生だった私は、うさぎに餌を与える時、噛みつかれないか、飛びついてこないかと恐怖心が先立ち、恐る恐る餌やりをしていた記憶があります。また、掃除も臭い小屋の中を箒で掃いたり、水で洗ったりして頑張ってきたものです。今思うと、「臭い、汚い、危険」の 3K だったのかも知れませんね（笑）。当時の貴重な体験だったと思います。



今、孫が木曾川西小学校に通っていて、学校の話をしてくれたり校歌を歌ったりしてくれます。親子、孫と 3 代で共通で歌える校歌は、大変懐かしく思うと同時に嬉しく思い、これからも 100 年、200 年と歌い継がれていくことを願います。

最後になりますが、孫が木曾川西小学校に通うようになってから、地域の活動にも参加するようになり、小学生と関わっていろいろな話をしたり、聞いたりする機会も増え、時代の変化も感じることもありますが、どんなに時代が変わっても、思いやりのある優しい木西っ子であって欲しいし、伝統ある木曾川西小学校がこれからもずっと語り継がれていくことを切に願う次第です。

## 懐かしの小学校時代

私の小学校時代は、入学したときは団塊ジュニア世代全盛のお兄さん・お姉さんたちがたくさんいました。私たちの学年も4クラス、たくさんの児童がいました。低学年の頃には、通学団で下校する際も、お兄さん・お姉さんたちにしっかりリードしてもらっていた安心感があったと思います。そして、自分も6年生になったら通学団の班長になりたい、特にあの旗を持ちたいと憧れていました。

また、学校の行事なども今より盛んに行われていたように思います。児童数が多いので、バス数台で、確か春と秋遠足に行った、楽しくワクワクした思い出があります。6年生では、やはり修学旅行ですね。あいにくの雨模様でしたが、京都・奈良の立ち寄った寺院など今でも覚えています。



さらに、子ども会も盛んで、学校と子ども会の関わりも強かったと思います。夏休みになれば、朝のラジオ体操に始まり、ソフトボールの練習。昼前くらいまで汗をかいていました。あと、雀のお宿でのキャンプ、キャンプファイヤー。みんなでご飯を炊いてカレーを作ったことを覚えています。夜はテントの中で、持ち寄った缶詰を開けてとりとめもない話をしていました。秋の町民運動会は、リレーの選手に選ばれて頑張って走っていました。



学校と子ども会は切っても切れない関係で、とてもいい経験をさせていただいたと思います。それも、学校と地域の方々のご協力と支えがあってこそ成り立っていて、子どもを持つ今になって改めて感謝しております。

今、自分も親になり、子どもたちは木曾川西小学校に通っています。あのころと変わらない校舎や体育館。時代はめまぐるしく変わっていきませんが、子どもたちの健やかな成長を願う親の気持ちと、小学校と地域のみなさまの子どもたちを見守ってくださる気持ちは、ずっと変わらないなと感じております。